

「安倍政治」継承した菅政権 “強権政治” を加速

政権交代めざし、市民と野党の共闘広げよう！

安倍政権が退陣し、後継の菅政権が発足してから16日で1カ月になります。「安倍政治」を丸ごと継承すると宣言した新政権は、スタート早々から日本学術会議への政治的介入を行うなど“強権政治”を加速させています。7年8カ月の安倍政権の大番頭として権力を欲しいままにしてきた人物が、今度は政権トップとして前政権の暗部を隠蔽し、官僚とメディアの統制を強化して、一層の強権政治を進めようとしています。

安倍政権の退陣と立憲主義を破壊した「安倍政治」の転換を求めてきた連帯兵庫みなせんは、新政権の一カ月を振り返り「声明」を発表しました。**(裏面に声明の全文掲載)**

次期衆院選・兵庫 11の選挙区に立憲野党候補(予定)13名出そろ

次期衆院選へ向けて兵庫県内12の選挙区では昨年夏以降、立憲、共産、国民の立憲野党3党が次々に候補予定者の擁立を発表し、今年7月末までに12選挙区の全てに野党候補が出そろっていました。その後合流新党の発足等を経て一部所属政党の移動があったり、共産党の候補追加があったことなどから、9月末には12選挙区に14名の顔ぶれが出そろいました。

さらに10月になって12区の池畑氏が国民から外れて無所属になったこともあって、現在は立憲7名、共産5名、国民1名の計13名が11の選挙区に公認予定されています。2区と3区では複数候補になっていますが、一本化へ向けて調整中です。12区も新たな候補を検討中です。

次期衆院選兵庫選挙区 野党予定候補者

1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区	12区
東灘 灘 中央	兵庫 長田 北区	須磨 垂水	西区 北播	丹波 但馬 三田	宝塚 伊丹 川西	西宮 芦屋	尼崎	明石 淡路	加古川 高砂 加古郡	姫路	西播
井坂 信彦	船宮 川野 鶴生	佐赤 藤田 泰勝 樹紀	今泉 まお	梶原 康弘	桜井 周	安田 真理	こむら 潤	福原 ゆかり	おき 圭子	太田 清幸	(池畑浩太郎)
立憲民主	立憲民主 共産	国民民主 共産	立憲民主	立憲民主	立憲民主	立憲民主	共産	共産	立憲民主	共産	無所属 (国民から)

「連帯兵庫みなせん」は兵庫県における「市民と野党の共闘」を進める市民団体として2016年参院選を前に発足し、県内の野党6党と連携して17年衆院選、昨年の参院選と3回の選挙に取り組んできました。